

**学校名** 三郷市立栄中学校

**所在地** 三郷市栄4-325

**電話** 048-952-1201

## 1 本校の概要

本校は『自ら学ぶ生徒・思いやりのある生徒・心身を鍛える生徒』を学校教育目標とし、「読書に親しみ、読書の幅を広げられる生徒の育成～一人一人が月に一冊の本と出会えるように～」をテーマに読書活動を推進している。

## 2 本校の実践

### (1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組



- ・学校図書館等の環境整備の工夫

### (2) 実践の概要

#### 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組

- ①朝読書（週4日・朝の15分間）
- ②図書室帰りの会（各クラス年間3日以上）
- ③各クラスに設置された学級文庫（月1回入れ替え）
- ④読書通帳の導入（読んだ本を記録・年度末に表彰）
- ⑤旅行的行事での読書活動（修学旅行・宿泊学習等）
- ⑥学校図書館の常時開館【昼休み（毎日）・長期休業中（夏季20日冬期3日）・放課後（週2日）】
- ⑦総合的な学習の時間での読書表現活動の取組

#### 学校図書館等の環境整備の工夫

- ・席数70、面積約260㎡の学習室と図書室の機能を持つ本校の学校図書館は『メディアセンター』と呼ばれる。

#### ○学校司書の活用

- ①図書館利用オリエンテーションを実施（4月）
- ②時節に合わせた環境整備と読書通信の発行（通年）
- ③イベント企画（おみくじ・スタンプラリー・POPで考えるフェア・ブックトーク等）



『POPで考えるフェア』は、対象の本にキーワードのみ書かれたブックカバーをかけ、ビニールで覆い、表紙や裏表紙、題名・あらすじ等全ての中身が見えない状態で貸出を行い、新しい本との出会いを演出する。

#### ○図書委員会による取組

- ①おすすめの1冊紹介（掲示物・校内放送等通年）
- ②全校朝会での呼びかけ（毎月1回）
- ③読書通帳の管理（毎週）
- ④毎日の貸出業務（当番制）
- ⑤委員会発信の企画（読書クイズ・読書ビンゴ等）

#### ○全校での取組

- ①校内家読ゆうびんコンクール表彰と掲示（全員参加）
- ②写真PC部による本紹介コーナーの設置
- ③学校だよりと図書室に教員の薦める本を紹介・設置
- ④各学年フロア、職員室前等に特設ブース設置
- ⑤全校読書朝会（校長による読み聞かせ）
- ⑥授業で活用する際の予約システムの構築
- ⑦特色ある学校づくり「漢字博士になろう」の取組として、漢字検定用の練習問題を貸出
- ⑧生徒による近隣の幼稚園・保育園・小学校での読み聞かせ



#### ○図書ボランティアとの連携

- ①図書ボランティア会議（月1回）
- ②ブッカーかけとグッズの作成（通年）
- ③メディアセンターの管理補助、開館業務（長期休業中を含め通年）
- ④研修会の開催（長期休業中）
- ⑤生徒への読み聞かせ（年数回）

## 3 成果と今後の課題

### (1) 成果

- ・25年度3027冊→26年度4765冊→27年度9346冊
- ・オリエンテーションと年間3回の帰りの会貸出の取組を始めとした、多彩な取組からメディアセンターで本を借りるシステムを構築している。読書活動の充実により生徒の読書に対する意欲が向上し、読書量の増加に繋がった。（27年は12月現在）

### (2) 課題

- ・本年度取り入れた取組の定着と図書委員会を主導とした活動を更に増やしていきたい。

### (3) おわりに

- ・「日本一の読書のまち三郷」の一枚として全ての生徒が「私の一冊」を持てるよう、読書環境の充実を図り、読書活動の質を高めるため、工夫して取り組んでいきたい。